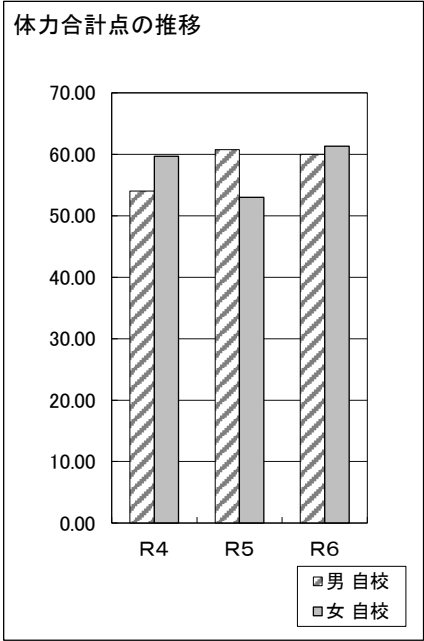
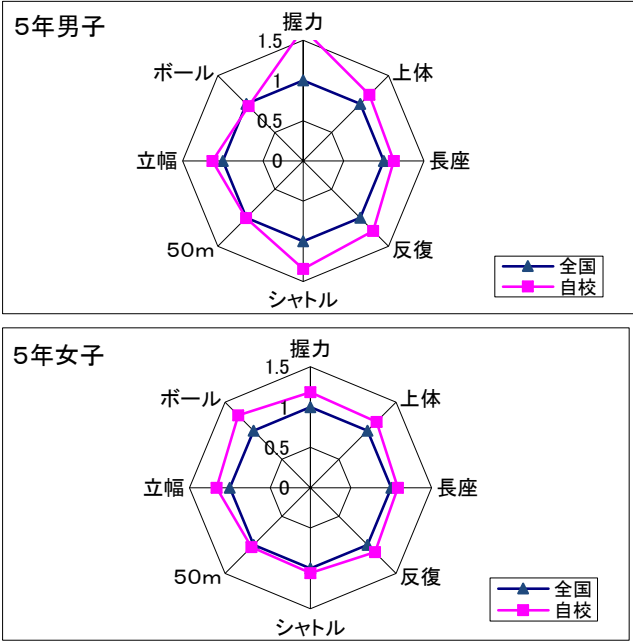


学校名	小31 蒲刈小学校
-----	-----------

1 自校の実技結果と全国平均との比較

学年	性別		R6平均値								体力合計点		
			握力 (kg)	上体 (回)	長座 (cm)	反復 (点)	シャトル (回)	50m (秒)	立幅 (cm)	ボール (m)	R4	R5	R6
5年	男	全国	16.01	19.19	33.79	40.66	46.90	9.50	150.42	20.75	52.29	52.60	52.53
		自校	26.33	22.33	38.00	50.00	63.00	9.43	170.00	20.00	54.00	60.75	60.00
		比較	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○
	女	全国	15.77	18.16	38.19	38.70	36.59	9.77	143.13	13.15	54.32	54.29	53.92
		自校	18.67	21.00	41.33	43.67	38.67	9.40	166.67	16.67	59.67	53.00	61.33
		比較	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○

※全国平均以上の種目…○ 全国平均未満の種目…△



2 重点種目の結果についての分析

呉市の重点種目	中学校区の重点種目 ※義務教育学校は、自校の重点種目	自校の重点種目 ※義務教育学校は、前期課程の重点種目
50m走	ソフトボール投げ	20mシャトルラン
〈成果と課題〉 ・男女とも全国平均を上回っている。 ・体育の「走運動」に関する単元で走力向上のために取り組んだことや、運動会や持久走大会等の行事に向かって児童の走る意欲を喚起したことが効果的であった。これからも継続していく。	〈成果と課題〉 ・男子が全国平均を下回っている。 ・体育の授業で「ボール運動」に重点を置き指導していくとともに、準備運動には必ずキャッチボールを組み込むこととする。 ・朝会や小中交流の時間等にドッジボールを設定し、児童の「ボール運動」に対する興味・関心を高めていく。	〈成果と課題〉 ・昨年度、女子の記録向上が課題であったが、今年度は全国平均レベルにまで達した。ただ、全国平均すれすれで男子に比べるとかなり低い。 ・持久力向上のために、持久走大会の練習やなわとび検定の練習を早めに開始し、練習に長く取り組ませる。

3 児童質問紙調査の結果及び分析

運動やスポーツをすることが好きな児童の割合			朝食を毎日食べる児童の割合			1週間の総運動時間が60分以上の児童の割合		
男子	全国	93.3	男子	全国	81.3	男子	全国	90.8
	自校	100.0		自校	100.0		自校	100.0
女子	全国	86.2	女子	全国	79.5	女子	全国	84.0
	自校	66.7		自校	100.0		自校	100.0
〈成果と課題〉 ・女子が全国平均を下回っている。 ・体育の授業において、ゲーム的要素を取り入れ、運動やスポーツの楽しさを経験させる。 ・全校集団遊びを朝会や委員会の活動計画に位置づけ、集団遊びの楽しさを体感させる。			〈成果と課題〉 ・男女とも全国平均を上回っている。 ・引き続き児童に朝食が大切であることを認識させたり、保護者に学級懇談会や保健だより等を通して、朝食の重要性を伝えたりしていく。			〈成果と課題〉 ・男女とも全国平均を上回っている。 ・体育の授業において、児童が十分な運動量が得られるよう工夫して指導していることや、休憩時間に外で遊ぶよう奨励していることが、効果的だったと考えられる。		